



世界自然遺産の島
屋久島

No.31

平成27年
9月

屋久島町 議会だより



「やさしく かしく たくましく」小瀬田小学校校訓

シリーズ〔学校紹介〕⑧小瀬田小学校 (P13へ続く)

《主な内容》

- | | | | |
|----------------|---|-------------------|----|
| ◇第2回定例会 | 2 | ◇第1回臨時会 | 11 |
| ◇常任委員会報告 | 4 | ◇議会全員協議会報告 | 12 |
| ◇一般質問 | 6 | ◇シリーズ[学校紹介] | 13 |

6月定例会の報告

6月16日から25日まで第2回定例会が開催され、平成27年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算4件、条例2件、報告2件、承認9件、その他4件の議案が提案され、それぞれ原案どおり可決、承認された。

条例の一部改正

○介護保険条例の一部改正Ⅱ
〔医療介護総合確保推進法による介護保険法の改正に伴うもの〕

Ⅱ〔宮之浦・島間航路に新たに貸切運賃を設けるためのもの〕

財産の取得について

○屋久島南分遣所の高規格救急車を更新し、配備するもの。

補正予算

○一般会計補正予算(第2号)

入札の結果、鹿児島トヨタ自動車株式会社と4384万8千円で購入契約を締結するもの。



耐震耐力度調査が必要な金岳小学校



耐震改修工事中の八幡幼稚園



改善工事が始まった通学路(安房)

- 1億9329万9千円を追加し、総額を98億1648万9千円とするもの。
- 〔主なものは人事異動に伴う人件費の組み替えて歳出の内容は次のとおりである〕
- 人事評価システム構築業務委託料Ⅱ100万円
- 財政調整基金積立金Ⅱ1億4500万円
- ふるさと納税お礼品費Ⅱ90万円
- 介護保険特別会計繰出金Ⅱ814万6千円
- マイナンバー対応システム改修委託料Ⅱ172万8千円
- 国民健康保険特別会計繰出
- 1億280万5千円
- ごみ処理施設管理費Ⅱ5448万4千円
- 木材流通加工施設整備に係る経費Ⅱ4725万円
- 屋久島マナーガイド印刷製本費Ⅱ201万8千円
- 通学路改善工事費Ⅱ600万円
- 金岳小学校施設耐力度調査業務委託費Ⅱ400万円
- 八幡幼稚園耐震改修工事費Ⅱ600万円
- 国民文化祭出演団体助成金Ⅱ35万円
- 特別会計補正予算
- ◇国民健康保険事業(第1号)



新庁舎建設用木材の乾燥場(小瀬田)

- 専決処分の承認9件
- ・ 税条例の一部改正Ⅱ〔地方税法の一部改正によるもの〕
- ・ 国民健康保険税条例の一部改正Ⅱ〔国民健康保険法施行令の一部改正によるもの〕
- ・ 平成26年度一般会計補正予算(第12号)
- ・ 国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)
- ・ 介護保険事業

- 特別会計補正予算(第6号)
- ・ 診療所事業特別会計補正予算(第7号)
- ・ 農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- ・ 船舶事業特別会計補正予算(第6号)
- ・ 平成27年度一般会計補正予算(第1号)
- 報告2件
- ・ 継続費繰越計算書の報告についてⅡ〔デジタル防災行政無線整備事業を平成26年度から平成27年度へ繰り越すもの〕
- ・ 繰越明許費繰越計算書の報告についてⅡ〔庁舎整備事業・消費喚起プレミアム商品券発行事業・口永良部島火山等避難施設改修事業など19事業を平成26年度から平成27年度へ繰り越すもの〕

請願

- 職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2016年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願Ⅱ採択



27世帯が入居している仮設住宅(宮之浦)

総括質疑

所属する委員会以外のことについて本会議で質疑を行なうものです。

問 口永良部島、避難者の見舞金の内訳と避難者仮設住宅一戸分の予算及び一般公営住宅の借上げ期間は、

答 見舞金については6月3日に口永良部島避難者見舞金支給要綱を制定しており、世帯主に対して一世帯当たり10万円、扶養家族1名につき

5万円ということで、申請に基づき支給するようにしている。また、仮設住宅設置一戸分900万で計上している。一般公営住宅等の貸付については行政上の期間は大体一年と決められている。場合によっては、それを延期することも可能である。

その他

- 平成26年度還付未済金に係る経費を繰入金で調整し、280万5千円を増額し、総額を24億5470万5千円とするもの。
- ◇介護保険事業(第1号) 人事異動に伴う人件費の増額等を繰入金などで調整し、827万円を増額し、総額を13億2935万円とするもの。
- ◇診療所事業(第1号) 診療所備品の更新に係る経費を使用料で調整し、総額を1億9030万8千円とするもの。
- ◇船舶事業(第1号) 臨時雇用船員に係る経費を賃金収入等で調整し、184万3千円を追加し、総額を3億2084万3千円とするもの。

常任委員会審査報告

付託された議案を質疑、討論し採決まで行います。

総務文教常任委員会

本委員会に付託された案件は条例案1件、その他の案件4件、予算案2件の計7件である。主な質疑応答は次のとおり。

町営船使用料条例の一部改正について

問 郡体育大会のフェリー太陽のチャーター料1回30万円の内容は。

答 航路経費の中で旅客、自動車航送、燃料、港使用料、船員の時間外、消耗品、保険料、減価償却、航路の付属施設の経費を按分して算定した額である。

問 最大定員数は。

答 設計上の定員数は1000名程度だが最大積載数は150名で救命胴衣も150人分備えている。

屋久島辺地総合整備計画の策定について

問 辺地総合整備計画の中の教員住宅の計画は。

答 古い住宅を取り壊して、平成27年、28年度に八幡校区、29年度に神山校区に新規で建設する計画である。

問 教職員住宅の今後については。

答 平成26年から十数戸、一般住宅への移譲を行ってきた。129戸ある住宅のうち、まだ5年〜10年利用できるものもある。今後教員住宅のストックはあまり必要ないとの判断をしている。

問 議会にとつては、辺地計画事業は事後報告で終わる感じがするが。

答 長期計画の中で、計画にないものは認めない事を基本に進めている。ただ要望が強かったりトップダウンで来る場合については見直しをしているが、安易に計画に追加したりすることは厳に慎まなければならぬ。

口永良部島辺地整備計画の策定について

問 口永良部島辺地計画で

は、噴火を受けて、番屋峰までの道路など避難道路の拡幅が必要になっているのでは。

答 計画は通常の整備計画であり、避難道路の拡幅やシェルターの必要性など、噴火に伴う課題は防災対策事業で対応したい。

財産の取得について

問 財産の取得にある高規格救急自動車の性能は。

答 救急救命士が行う特定行為に必要な人口呼吸器、半自動除細動器、データ送信ができる自動車電話を装備している。保証期間は1年間である。

損害賠償の額を定めることについて

問 損害賠償の中身は。

答 グレーチング蓋が跳ね上がり、バスに損害を与えた賠償で、修理代金73万2694円、代車損害2万円、休車損害20万円を見積もっている。

一般会計補正予算(分割)

問 ふるさと納税のお礼には工夫が必要では。

答 当初、生ものは出さないとしていたが、今後は水産物、農産物も対象としたい。噴火後、口永良部出張所



追い討ちをかける大雨災害(口永良部島)



宝くじ事業で購入した備品(中間区)

の職員や町が雇用している看護師等はどうしているか。

答 職員は宮之浦支所に勤務し、業務委託の方々も屋久島で同様の仕事ができるようにと考えている。

また教育委員会所管では、6月1日から業務変更契約を行い、用務員は宮浦小学校に、給食センター職員は宮之浦給食センターに勤務している。

問 コミュニティ事業の内容は。また、今後も助成金は継続可能か。

答 これは宝くじ事業で、今年度3地区要望したが1地区だけが採択された。できるだけ数を増やしてもらおうよう県にも働きかけたい。

問 財政調整基金の額は。

答 6月末現在で13億8千3

船舶事業特別会計補正予算

問 船舶事業の赤字はどれくらいか。

答 3億円の予算規模で町の持ち出しは1割程度である。

問 今後一時帰島で家畜や車を運ぶ経費は、災害救助法の対象になるのか。

答 町単独になると思う。

問 新船について、小さくすればコストも下がるので、現状の船を維持するより1時間40分かかるものを高速船的な一歩進んだものにできないか。

答 そのように要望していきたい。

以上、付託された案件は、全て原案のとおり可決すべきものとした。

産業厚生常任委員会

本委員会に付託された案件は条例案1件、予算案4件。主な質疑応答は次のとおり。

介護保険条例の一部改正

問 今回の保険料引き上げによって被保険者の生活を圧迫することはないか。

答 懸念している。今後これをどう引き下げていくか、さまざまな対策を講じなければならぬ。

一般会計補正予算(分割)

問 海岸漂着物清掃の場所はどこか。

答 一湊海水浴場、平和町海岸、田代海岸、栗生海岸の4カ所。県も春田浜、志戸子海岸、小瀬田海岸、いなか浜の4カ所を予定。

問 これらの収集業者は。

答 町のゴミ収集許可業者から選定し、今回は上屋久清掃社である。

問 廃棄物対策費のゴミ収集委託料の詳細は。

答 7月1日から燃えるゴミの分別が変わるので、7月分から来年3月分までの労務費、燃料費等で、北部155



海岸清掃で収集された漂着物

万360円、南部230万3160円、合計385万4千円を計上している。

問 ゴミの処理量が減るのに、委託料が減らないのは。

答 24時間稼働を維持するために、これまで同様24人体制でやる。

問 燃料費の削減はいくらか。

答 16時間から24時間稼働に移行したこと、燃料費119万7千円、電気使用料2250万円で、計3400

万程度削減となる。

問 観光協会の不祥事で監査委員の意見に対する対応は。

答 協会に直接関与してないところ、町の監査委員にもしてもらった。今後は使途目的の明記など、内容も検討して覚書等を交わす予定である。

問 安房と宮之浦の観光案内所が閉鎖されることをどう思うか。

答 たいへん残念である。7月から繁忙期までしっかり体制を作るといふことなので、町もバックアップしたい。

問 口永良部島の工事が途中でストップしているが支払いはどうなるのか。

答 業者はすでに材料を購入しているので出来高払いにする。

問 すでに購入して使っていない材料はどうするのか。

答 避難所などで使う。

問 口永良部島に残されている牛の今後の対応は。

答 湯向・本村港間の道路状況、フェリー太陽が接岸できず運搬できるかなど調査が必要だ。最初は漁船で子牛の確認をして、島民の自動車運ぶときトラックに積めるようであれば搬出したい。

問 屋久島地スギの一次加工の件で、森林組合の理事会及び総代会でクリアされてないと聞くがどうか。

答 総意は得られてないようだ。可能な限り総意にこぎつ

きたい。

問 このことは今年度の所信表明、事業計画にもないが、補正で提案した理由は。

答 平成26年度の国の補正予算を活用して、地スギを加工して島外に搬出するための事業を導入するため。

問 この事業は販路拡大の可問性が十分あると思う。ただし、森林組合の総代会で承認された後に執行するべきであるがどうか。

答 森林組合の定款も正式な手続きを踏まないと出資できないことになっている。

国民健康保険事業補正予算

問 国が医療費の削減・抑制及び病床の削減などを打ち出しているが、これらを注視していく必要があると思うが。

答 医療改革が進んでおり、十分注視して対策に努めたい。

介護保険事業補正予算

問 声かけ・見守り支援事業は組み替えをしてどういうことをするのか。

答 公民館を中心とした高齢者の交流援助、見守り活動など、地域で徘徊、足が弱い人

などのサポートに対して助成金を交付する。

診療所事業補正予算

問 口永良部診療所の器具、医薬品の保管状況はどうなっているか。

答 器具はリースなので避難が長期におよぶようであれば、一定期間解除も含めて契約先と協議している。医薬品については、未開封のものは返品可能のことなので入島の際、回収してくる。

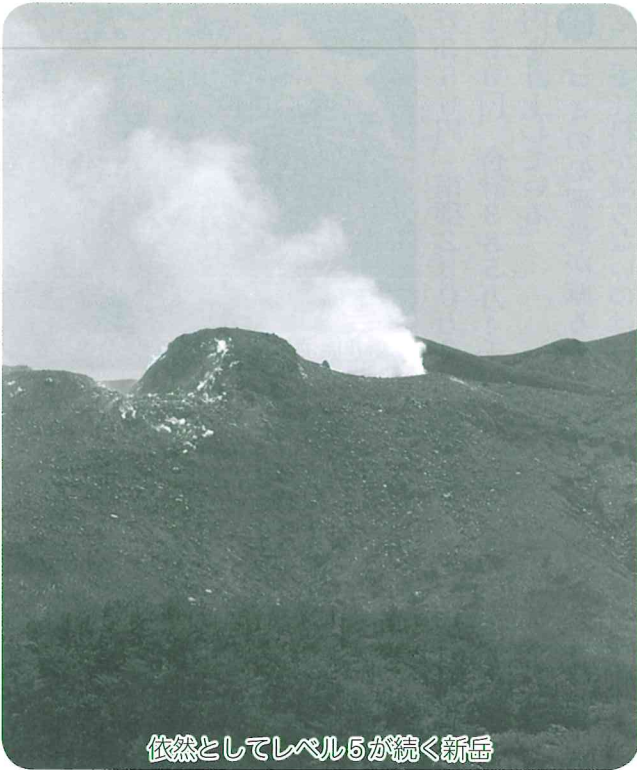
意 開封したものは永田・栗生診療所で使えないかなど、連携して取組んでもらいたい。

以上の質疑等を踏まえ、討論を行った結果、農林水産課所管に係る、林業対策事業補助金2000万円の支出については、森林組合の理事会及び総代会の議決を得た後でないこと、執行しないことを条件として賛成する。という賛成意見があり、採決の結果、賛成多数で可決された。よって、付託された案件はすべて原案のとおり可決すべきものとした。

一般質問

7人が町の考えを問う

6月17日と18日に行なわれた一般質問を通告順に掲載しています。
この内容は、議会会議録をもとに質問者の責任において質問及び回答を要約したものです。
なお、会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、詳細については会議録をご覧ください。



依然としてレベル5が続く新岳

新岳噴火に伴い被災された町民に寄り添う支援策の有り様は

町長／英知を結集し、より細やかな配慮をもって対応する



寺田 猛 議員

問 噴火から半月が過ぎましたが、被災者の避難生活は始まったばかりである。現状を考察すると、「とにかく、一刻も早く島に帰りたい」被災

者と、「一刻も早く、島に帰らしてあげたい」関係機関の関係者、お互いにこの一点に尽きると思う。全島避難を余儀なくされている口永良部島の町民が、帰島しコミュニティを復活するのは、三ヶ月先か？半年先か？一年先なのか？予測不能な期間が待ち受けている。当面の課題として、何にも増して被災された

町民に寄り添う、きめ細かく柔軟な対応や支援策が肝要と考えるが、町長の見解を伺う。

答 気象庁による警戒レベルの引き下げや規制解除のめどは立たず、全員帰島の時期が見通せない厳しい現状ではあるが、英知を結集し、より細やかな配慮をもって対応したい。やれることは何が何でも精一杯やる覚悟である。

教育による地域振興策について

町長／定住促進対策の観点から各種支援策を研究する

問 地域振興策の一翼として、「学びの島・屋久島」をキーワードに掲げ、屋久島高校への「島留学」や町内小・中学校への「教育移住」を促進する具体的な事業を展開し地域活性化を図るべきでは。

答 教育移住は、少子化対策や地域活性化に大きく貢献し有効な地域振興策である。屋久島高校に島外の生徒を受け入れることは、町の教育振興にもつながる、町長部局とも連携を図り、各種支援策を研究していきたい。

国民健康保険税・介護保険料の抑制策は

町長／疾病予防の重視と日常生活支援の充実



真辺 有次 議員

問 高騰する国保税及び介護保険料を抑制するためにどのような施策を講じるつもりか。

答 国保については、医療費をどう抑制するか。生活習慣病などの予防を重視し、特定健診の脱漏者や未受診者への個別受診勧奨を行う。また、健診の結果、診察や保健指導が必要な方やその家族に保健師及び看護師等が個別訪問して、必要な指導を行う。

問 ジェネリック（後発）医薬品を推進するため、民間・町立医療機関の会合等を開き意見交換するなど、積極的に取り組んではどうか。

答 町、保健所、医療機関との会合の中で、そういう話をしていきたい。

問 介護保険についてはどのような取組みが考えられるか。
答 短期的には介護給付の適正化事業が重要である。中期的には介護予防日常生活支援事業を着実に推進していく。

保健・医療・福祉・介護業務に有資格者の専門職員の配置を

町長／保健師等を採用する

問 保健・医療・福祉・介護業務に有資格者の専門職員を増員して町民の健康増進、介護予防、日常生活支援等々の充実を図るべきでは。
答 これらの担い手である専門的な知識や技術を有する、保健師等の専門職員の採用を考えている。社会福祉士も必要と認識している。

問 これからの人材育成のため、これらの職種資格取得希望者に対して奨学金など、何ら

また、有資格者でなくても一般の方々が提供できるサービスの仕組みづくりによる、要介護者の抑制と元気高齢者づくりに取組みたい。

かの援助ができないか。

答 そのことも勘案しながらこれからのことを考えていきたい。



介護予防のために予防運動の励行を

一次産業の振興について

町長／若者が就業できる環境づくりに取り組みたい



石田尾 茂樹 議員

問 水産業の現状をどのように認識しているか。

答 個人消費の落ち込み、燃油の高どまり、漁獲の低迷、異常気象などにより、漁家経営、漁協経営は一層厳しい状況になっている中、水揚げ高の落ち込み、組合員数の減少により水産業の厳しい現状は十分理解している。

問 町の支援を考えていただきたい。

答 漁協の育成、支援で今現在、2億円の預金をしている。財政苦しい折ではあるが、漁協の運営や漁民の方の支援になるということで考えていく。

問 後継者、新規事業者の育成のための支援策について。
答 新たに漁業に従事しよう

とする人がいるということ、将来の担い手を確保するという意味で大変重要だと考えている。全体の予算編成の中で検討する。

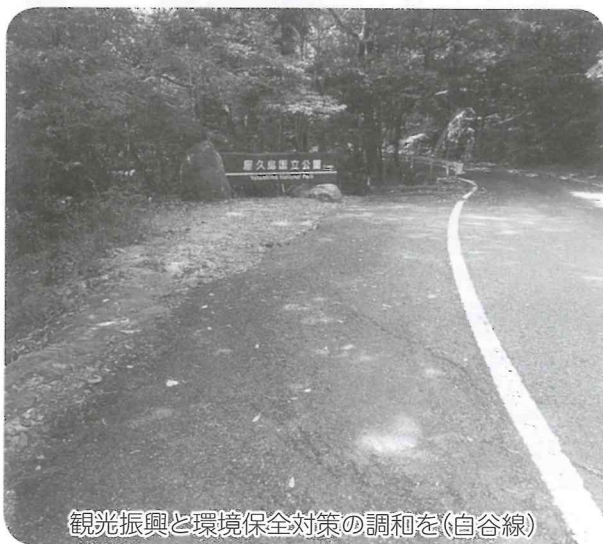
観光振興と環境保全対策について

町長／改良計画見直し方針として県に提出したい

問 県道白谷雲水峡宮之浦線の道路拡幅工事に係る考え方について。

答 400m区間は現計画を基本とした2車線整備とし、国立公園地域に含まれる箇所からの区間は、緑のトンネルの現状を保全し、希少植物に配慮し、1.5車線整備とした。

問 駐車場の問題も含め、疑問



観光振興と環境保全対策の調和を(白谷線)



漁家の後継者対策は(安房漁港)

答 ・問題等がある場合に議論する余地があるか。
・当然議論するべきである。

環境政策行政について
ランニングコストの見
直しはあるか

町長／変更はない



小脇 清保 議員

問 7月から町民に負担をかけるながらごみの減量化の為に分別が始まるが、減量化による日本管財とのランニングコストの下半期減額はあるか。
答 再資源化物の圧縮梱包に係る新たな業務等に対応する為の人員配置をしなければならぬので変更せず管理業務を行う。

観光協会の不始末について
監査報告書は見たか

町長／目を通しています

問 監査報告書にも書いている様にこの8年間の皆さんの運営による不始末である。議会で補助金の執行については慎重にという附帯意見を付け



経費削減のため分別にご協力を

ている。責任の所在も明らかで無い時点での700万の執行は如何なものかと思う。

答 顧問弁護士の見聞も聞き、公益性を認める団体である以上、解体を自治体が黙認する事はある得ないというところで全額でなく一定の割合を支出するという判断をした。

問 理事の責任に於いて借金をゼロにして出直さなければ協会の存続はないと思う。町が介入して処理すべきではないか。

答 一人格を持った組織ですから、町が先行するのでなく、自助能力に期待したい。

ふるさと納税について
品数を増やすべきでは
ないか

町長／研究・努力中です

問 約束通り6月から町のホームページにふるさと納税が載っている事は評価するものの、品数が少なすぎる。屋久島の特産品はあんなものではない。もっと一般からも公募して品数を増やすべきではないか。

答 今回は体制を整えることに重きを置いた関係で指摘の様に品数が少ないが、今後、課内でも研究・検討して屋久島の特産品であるポンカン、タンカン等、数多く載せたいと思う。



ふるさと納税お礼品の増品を

少子化対策、子育て支援

町長／研究・努力中です



日高 忠見 議員

問 町、女性団体連協の世話やきキューピット、町も経済支援を含め充分な後方支援態勢が必要と考えるが。

答 本事業はボランティア活動であるが、町も連携協力して実施して行く。

問 若者世帯、夢と希望が持てれば二子以上はとあるが。

環境の整備について

問 最近、道路沿い、休耕地等でシロノセンダングサの蔓延が多く見られる。やがて農業への影響も感じる有害植物としての認識と対策は。

答 環境省、県の各団体に於いては、要注意植物に認定されている。町も県と連携協議しながら駆除対策を検討する。

問 まもなく完成の南部林道、



農作物への悪影響が懸念されているシロノセンダングサ



フォークダンスで楽しいひと時を(町女連主催の出会いイベント)

答 子育て関連三法を受け、医療補助制限を中学校終了までとした。妊産婦又は育児困難な世帯にホームヘルプを派遣し、援助している。

草木が繁茂し二トン車も通れない状況、作りっぱなしと云われても仕方がない。最低限の管理が必要では。

答 維持管理の必要の認識はある。口永良部の人達の仕事の確保と云う事で、内部検討したい。

馬毛島自衛隊基地反対協議会参加の意義は

問 今回の噴火でも協力頂いたように島にとっても基地があつた方が迅速な対応ができるのでは。

答 軍事基地と考え反対する。自然災害の救援は別のものと考える。

問 中種子町でも離脱の動きがあるが。

答 公式発表はまだない。今後も協議会と歩調を合わせ、反対活動を続ける。

問 再編交付金はどう考えるのか。

答 騒音レベル75が指定の基準となる。最悪の事態を招かない為にも隣接市町村との連携が重要である。

新岳噴火で全島避難を余儀なくされた口永良部島民の避難生活対策の今後は
町長/職員を中心に迅速な判断と適切な指示で解決していきたい



渡辺 博之 議員

問 噴火の翌日、日本共産党は2名の国会議員、県会議員からなる調査団を屋久島へ派遣、お見舞いと調査を行った。7月1日、調査に基づく20項目あまりの要望を国、県に申し入れ、3日、4日には国の災害特別委員会で質問を行っている。この危険を全町一丸となつて乗り切る立場で微力を尽くしたい。被災者救援対策の今後を伺いたい。

答 屋久島町の力量が問われる課題と位置づけ力を尽くしたい。衣食住の課題では避難所生活の1日も早い解消のため民間、公営住宅の活用を進め、27世帯47名については仮設住宅を考えている。生活必需品は島民や全国からの救援

物資を最大限活用しながら、町でも購入する。一時帰島では車両などの搬出を行いたい。食事はボランティアのみなさんに炊き出しなどを行っていたら大変感謝している。被災者の収入の確保については、町の災害見舞金の支給を行っているところだ。また日赤、県が合同で義援金募集を開始、町も4つの金融機関の協力で募集しており、早い段階での一時配分を調整中である。就労では県労働局による相談会を実施しているが、町で何ができるか検討中だ。被災者や子供のケア対策にも対処したい。中・長期的には帰島後の衛生、火山ガス、風評被害、経済の建て直しなどの対策は避けられない。

問 仮設住宅はいつまでに完成させるといふことを被災者に明らかにして、逆算方式で行うべきではないか。

答 決まった段階で住民説明



大雨により被災した町道(口永良部島)

会を開きたい。

問 事実上使えなくなっている口永良部の電気料金やNHK受信料などの支払いについて企業に免除や減免を働きかけるべきではないか。

答 きつちりと検討したい。

問 各種税金はどうなるか。

答 納期限、各種届け出の延長、減免は国保税、町民税を検討、相談窓口を設置したい。また水道料金の基本料は免除とする。

問 被災者の心身の健全保持のためにも仕事の確保は重要な課題だ。噴火で未執行となる口永良部当分の財源を充てるなど力を尽くすべき。

答 オール屋久島で一つになつて取り組む。その先頭に立つてやりたい。

第1回臨時会議員表決一覧 (賛否の分かれた議案等のみ) ○は賛成 ●は反対 ※ 議長を除く

件名	議員名 結果	石田尾	日高忠	緒方	永野	山崎	真辺有	岩川修	小脇	下野	岩川俊	日高豊	真辺万	寺田	渡辺	満園
		平成27年度一般会計補正予算(第4号)修正案について〔応急仮設校舎にかかる経費を削除するもの〕	不採択	●	○	○	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●

園児・児童生徒の健康診断の状況とその結果に対する対応は

教育長／学校保健安全法により毎年眼科、耳鼻科等の検査を実施し、異常があった場合は保護者に受診、治療勧告を行ない、病気の早期発見・治療に努めている。



山崎 利広 議員

問 健診とは別に体力テストは行なわれているか。
答 国の方針で、全ての学校ではなく毎年、数校が指定されてやっている。
意 食生活が昔と比べ変化している、食生活の改善にも取り組んでほしい。
問 肥満児傾向の把握は。
答 学校で行なっているが、個々への具体的な指導は把握していない。食の改善については栄養教諭を中心にPTAの研修等で進めている。

問 健康寿命の素地は子供時代に作られる。学校で生活習慣改善のための学習に取り組めないか。
答 今後、保健教育や健康の面について意見交換や共同学習が必要だと考えている。

健康増進対策への取り組み

町長／健康増進法に基づき、各種健診等を実施し、必要な指導を行なっている。

問 健康寿命延伸のための取り組みは。
答 各種健診を実施し、必要な指導を行なっている。今年度から、改善しない方や保健指導が必要な方への指導を強化し、糖尿病、高血圧の重症化予防を重点的に指導することにしている。
問 医療費適正化のため宮之浦地区で行なっている事業の成果は。
答 当地区だけ特定健診の受診率が40%から50%になった。
意 最終目的は、検査結果後の指導及び治療だと思うので徹底していただきたい。

要介護者の現況と介護予防の取り組み

町長／現在、139人で、各集落で予防運動教室等介護予防の啓発を行なっている。

問 要介護者の現況と介護予防のための取り組みは。
答 現在139人で、29年度には802人と推計。

問 1次予防として各集落で予防運動教室を、2次予防として運動機能の改善のため、要支援の方々を対象に3ヶ月間集中的に運動教室を行なっている。また、今後も元気な高齢者を増やし、担い手となつて活躍できるように生活支援の仕組みづくりに取り組む。
問 対処から予防への転換が必要だと思う。教育委員会、国保事業というように別々ではなく健康寿命延伸に向け、教育委員会・健康増進課・介護衛生課の連携体制づくりが必要だと思うが。
答 各課の垣根を越えて職員一体となつて考え、定期的な情報交換できる職員間の連絡会をつくりたい。

議会動向(平成27年6月～8月)

6月 1日	九州電力熊毛営業所の川内原発要望書についての説明(安房総合センター)	27日	第7回全員協議会(災害調査)
2日	新議員研修会(鹿児島市)	8月 3日	第8回全員協議会(宮浦小学校・中央中学校調査)
11日	第2回議会運営委員会(尾之間支所)	4日	第1回屋久島町議会臨時会(宮之浦支所)
16日	第4回全員協議会(尾之間支所)	5日	第9回全員協議会(宮之浦支所)
23日	第2回定例会開会(～25日まで)	5日	第5回種子島屋久島議員大会臨時会(鹿児島市)
23日	森林・林業・林産業活性化議員連盟会議(宮之浦支所)	6日	市町村政研修会(鹿児島市)
25日	新庁舎建設基本設計議員ワークショップ(宮之浦支所)	19日	森林・林業・林産業活性化議員連盟委員と屋久島森林管理署との意見交換(尾之間支所)
29日	第1回口永良部島噴火災害調査特別委員会	24日	県後期高齢者広域連合議会第1回臨時会(鹿児島市)
7月 7日	正副議長研修会(霧島市) 8日まで	27日	議会広報委員研修会(鹿児島市)
14日	熊毛地区消防組合第1回臨時議会		
7月17日	第3回議会運営委員会(尾之間支所)		
24日	第2回口永良部島噴火災害調査特別委員会		

第1回臨時会



大雨災害で壊滅状態の林道(湯泊)

8月4日、第1回臨時会が開催され、平成27年度一般会計補正予算及び電気事業特別会計補正予算が提案された。

○平成27年度一般会計補正予算(第4号) 7月20から22日にかけて発生した豪雨災害の復旧経費と金岳・小中学校応急仮設校舎に係る経費(国庫補助5分の4)が主なもので、1億6169万2千円を増額し、総額を99億7818

万1千円とするもの。

○平成27年度電気事業特別会計補正予算(第1号) ⅡNTT電柱の移設に伴い、共架している送電線の移設工事を受託工事負担金で調整し、57万円を増額し、総額を6億7300万3千円とするもの。

総括質疑

問 仮設校舎に係る経費は、

最初の説明では約1億円であったが7790万円になった理由と、町内にある遊休施設の検討の有無及び一般財源の内訳は。

答 当初1社に資料ということで見積もりを依頼した。その後、県内にある3業者から見積もりを徴した結果、この金額となった。

また、既存校舎



宮浦小学校現況調査(8月3日)

について、旧小瀬田中学校を検討したが、学校統合後設備・備品等ほとんど残っていないことや平成23年度に実施した耐震調査の結果が文科省基準を下回っていることから耐震補強や設備を整えるためには、かなりの期間と経費が必要と考える。

なお、一般財源の内訳は、歳入で計上している地方交付税の中の特別交付税1100万円が充当する予定であり、町の持ち出しはほとんどないものと考えている。

問 仮設校舎建設は、保護者からの要望ではないということ

とについての確認をしたい。

答 金岳小・中学校のあり方については、保護者の方々と数回意見交換を行なってきた。その中で、卒業式・終業式のあり方、口永良部島の伝統学習はどうなるのか。金岳小・中学校だけの教育もしてほしいなどの意見もあった。

教育長が皆さんの意見を聞かせてほしいと訪ねると、「有り難いことだが町民に負担をかけることは申し訳ない」との意見があり、期待しているという気持ちはあるが、造ってほしいという強い言葉はなかった。

○修正動議の提出

質問終了後、議員から仮設校舎に係る経費を削除する修正動議が出され、「わずかな日数の仮設校舎の審議では町民の理解は得られないし、誤解を招く元になる。もう一度このことを審議して町民の理解を得られるような内容上程していただきたい」修正動議を出すものである」との説明があった。

その後、討論を行ない、修正に反対の立場から「できる

だけ早い時点で結論を出すべきである。子供達の学習や全体で取り組むことも多くなることを考えると施設整備をするのであれば早くしてほしい。また、町民の理解ということであれば、議会の中でもっと討論して理解を深めるべきである。さらに、避難している住民が避難先で快適に生活できるようにあらゆる角度から考えるべきである」

また、修正に賛成の立場から「多くの町民の理解を得ていない中で実行することは、被災者との溝を深めることにも成り兼ねないので、慎重に考えるべきで、白紙にして町民の理解が得られるものにして再提出してもらいたい。さらに、受け入れている宮浦小学校や中央中学校の保護者の意見も聞いた上で修正していただき、再度提案すべきである」との討論があった。

討論後、起立採決が行なわれ、修正動議案は賛成少数で否決された。

次に、補正予算の原案について採決が行なわれ、賛成多数で原案のとおり可決された。

全員協議会報告

◎6月11日開催

○町長部局

1. 口永良部島新岳噴火に伴う現状報告について

・5月29日(金) 9:59噴火

レベル5 火山災害対策本部を設置 島民避難「勧告」

発令避難「指示」 災害救助法適用 防災ヘリやフェリー太陽で屋久島へ避難(宮之浦地区公民館、老人憩いの家、縄文の苑)

・6月1日(月) 一時入島(防火防災・発電所部品交換のため)

・6月4日(木) 一時入島(停電復旧活動等を実施) 前田地区から向江浜地区までは送電停止

このほか、住民説明会や仮設住宅関係内部協議・住民代表者会などを実施してきている等の説明が総務課長よりなされた。

2. 県道白谷宮之浦線(残り800m区間)改良計画策定方針(案)について

①改良計画区間800mのうち、現在整備を進めている箇所からの400m区間は2車

線で整備し、残り400m区間は、希少植物に配慮した1.5車線整備とする。

②巨木や希少種を回避する拡幅可能線形の設定と離合場所を設置し、希少種保護及び植生保護の対策を講じる。

③現道の線形を基本として整備する1.5車線区間についても、路肩等はすべて補強整備し、路盤についても改良による舗装は行う。

④工法は最先端の自然環境に配慮した工法と素材を活用して、環境・植生への負担を最小限にとどめる工法を採用する。

⑤現状で側溝蓋の未整備箇所や危険箇所も見受けられることから、雨水対策としての側溝整備(排水対策)は白谷雲水峡までの800m区間でも行う。

以上を見直しの基本方針として、実施設計に係る詳細事項については県と協議して計画を進めるとの説明が企画調整課長よりあった。

3. 屋久島スギ材の一次加工施設整備計画について

①整備の概要として、年々増加傾向にある屋久島のスギ材

(間伐材)を効率的に島外に出荷するため、一時加工施設を整備する。

②事業主体を(株)屋久島地杉加工センター(仮称)を設立する。

③施設整備場所として、屋久島町小瀬田の現屋久島森林組合丸棒工場に整備する。

④費用負担として国・県補助金47,250千円、県林道工事17,370千円、町補助金20,000千円、自己負担額62,310千円

4. 公益社団法人屋久島観光協会のこれまでの経過報告について

・公益社団法人屋久島観光協会への補助金支出については、より慎重に見極めたうえで進めてきた。以前より支出していた負担金については運営補助金としての性質を有していたことから、平成27年度では補助金として支出し、補助金の実績を求めていることにより適正に運用されているかどうか確認が取れる体制を整えた。さらに、過去の経緯・現在の取り組み・それらを踏まえ、再建に向けた経営健全化計画を作成し、第三者からの評価及び総会を開催し、会員

へ周知徹底させたいうえで同意を得たかどうかについて精査してきた。併せて、町は独自に町の監査委員に対して地方自治法第199条第7項に基づく監査を依頼し、協会の帳簿関係そして担当課における適正な執行かどうか確認したところである。5月21日に協会より補助金交付申請があり、協議を重ねた結果、全額交付ではなく、当面協会運営に必要な金額を交付し、残りについては、今後の推移を見守りながら適正に交付することと、5月29日協会へ交付(支出)した。との説明であった。

議員から、協会の会員の会費徴収について質問があり、「会費については、新体制のもと対応しているとのこと」であった。

◎7月27日開催

◎議会関係

・7月20日から21日にかけて発生した豪雨災害による災害調査を行った。現場は湯泊地区の湯川頭首工で、法面崩壊2カ所、土石流1カ所、火災、畑かん破損や上水道が切断されていた。

◎8月3日開催

○議会関係

・金岳小・中学校仮設校舎建設について調査するため、宮浦小学校と中央中学校の現状を視察し、各校長や先生と意見交換を行った。

◎8月4日開催

○町長部局

・縄文杉展望デッキ工事スケジュールについて

環境省より平成27年度の工事スケジュール説明があり、北側展望デッキについては、8月中旬より環境省の工事が始まり、来年3月までに完成させるとの説明を受けた。

議員より、登山者への周知の徹底や輻輳への対応などの登山者への安全対策について質問があり、環境省からは、登山口・自然館前・避難小屋などに看板を設置、環境文化村センターや空港・湊にも協力してもらい、町報に折り込みチラシを入れて町民にも周知する。また、輻輳対策についても対応するとの回答であった。

シリーズ学校紹介⑧

小瀬田小学校

本校は、創立137年目を迎えた歴史と伝統のある学校です。

本校区は、島の東側に位置し、小瀬田区と長峰区からなります。人口は846人、世帯数は441戸です。(平成27年5月末現在) 校区の西側には屋久島連山が迫り、標高1235mの愛子岳がそびえています。小瀬田校区は、屋久島空港があり空の玄関口となっています。また、空港の近くにはアメダスの観測場があり、小瀬田の間降水量は4500mmにも及びます。夏は気温が高いわりには風があつて涼しいですが、冬は北西の季節風が厳しく荒天の日が多いです。

現在、56名の児童が通学し、5・6年が複式学級の5学級です。長峰区の児童は、スクールバスで通っています。来年度は、複式学級解消の6学級の予定です。

【小瀬田小の教育】

校訓：「やさしく かしく たくましく」

教育目標：「人権を尊重し 豊かな心と確かな学力を持ち たくましく生きる小瀬田の子どもを育てる」

【特色ある教育活動】

○ 学校農園においてさつまいもや野菜づくり

学校近くの農園を地域の方から借り受け、児童と教師が一体となって、額に汗して働く勤労生産・奉仕的活動として、手作り学習農園に取り組んでいます。児童や保護者、教職員が協力して土を耕し、肥料をまき、苗を植え、草取りをし、収穫の喜びを味わいます。今年も、サツマイモの他、インゲンマメ、トウモロコシ、オクラ等の野菜づくりにも挑戦しています。子どもたちは、栽培を通して、除草や水かけなど作物を育てることの大変さ、厳しさを体



験することができま

収穫した作物は、子どもたちや野菜サラダパーティーを開いたり、スイートポテトを作つて高齢者の方を招待したりしました。また、保護者も家庭教育学級でもちをやり、食について考えることができま



○ 郷土の伝統芸能「四つ竹棒踊り」伝承活動

毎年、秋季大運動会で3年生以上の児童が、四つ竹棒踊りを発表します。そのため地域の方を講師に招き、分りやすく指導してもらいます。校区の運動会や歓送迎会など、地域住民による四つ竹棒踊りも好評です。また、8月15日、小瀬田集落内で小瀬田盆踊りとして初盆の家を回り、踊ります。そして、夕方になると集落の墓地で盆踊り

を披露します。

○ 「人権の花」運動、道徳教育研究

本校は、今年度「人権の花」運動を実施しています。4月に人権標語を募集し、看板を作成・設置しました。5月には開会式を行い、今後、「ひまわり」の栽培活動を展開し、島内施設等訪問し、花をプレゼントする予定です。また、本校の教育目標の初めには「人権を尊重し」を掲げています。本校教育目標の実現のためには、豊かな心をはぐくむ道徳教育の充実が求められます。平成26・27年度屋久島地区道徳教育研究指定を受け、7月2日に研究公開を行いました。児童一人一人が、自分自身の内面を深く見つめ、よりよい生き方に気づき、実践していく力を育てる総合単元的な道徳学習の展開により、学校教育目標の具現化が図れるものと考えます。この研究を通して、思いやりのある子ども・進んで学ぶ子ども・たくましい子どもをはぐくむために、日々の教育活動に取り組んでいきます。

投稿写真

役場総務課提供



海上から望む口永良部島新岳(平成27年7月24日撮影)

投稿写真募集

風景・行事等テーマは問いません。このコーナーで紹介したい写真をお持ちの方、ぜひご提供ください。一言、写真の説明文を添付していただければたいへん助かります。採用された方には、粗品を進呈いたします。不明な点がありましたら、議会事務局へお問い合わせください。

クイズ

問①平成27年度第1回臨時会後の一般会計予算の総額は？

() 円

②小瀬田小学校の運動会で発表される伝統芸能は？

() 踊り

③縄文杉北側展望デッキの完成予定は？

() 年 () 月 () 日

※クイズの正解者の中から抽選により、3名の方に図書券を進呈いたします。

◆応募方法

住所・氏名・年齢を明記の上、ハガキで下記へご応募ください。

◆締切日

平成27年11月6日(金)

◆消印有効

◆応募先住所等

〒891-4404

屋久島町尾之間157番地

議会事務局クイズ係

電話 43-5900

(内線372)

▼前号の正解は、次のとおりです。

問1 (15)歳

問2 (25)人

問3 (知恵)出せ・(汗)出せ・(力)出せ

◎正解者の中から、抽選により、次の方々に図書券をお贈りしました。

○梅田 勝己様(尾之間)

○前原 昌和様(尾之間)

○日高きさ子様(尾之間)

議会を見にきませんか

・だれでも自由に傍聴できます。
・受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎議会(定例会・臨時会)は

宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。

6月1日から11月30日までは…宮之浦支所議場

12月1日から5月31日までは…尾之間支所議場

編集後記

今年には終戦70年の節目の年です。8月に入りテレビ、新聞等のマスコミで連日のように戦争に関する番組放映や記事が掲載されました。

先の大戦では数百万人もの軍人・民間人が尊い命を落とされました。戦争は実に悲惨であり、残酷なものです。

私は戦争を知らない世代ですが、小さいときから父母・祖母・まわりの人たちから、戦中・戦後のことをよく聞かされたものです。

私たちは平和の尊さを心に刻み、二度と戦争を起こしてはならない。参加してはならない。という不戦の誓いを8月15日の終戦記念日に新たにすることです。(真辺)

発行責任者

議長 日高好作

編集責任者

議会広報委員会

委員長 山崎利広

副委員長 緒方健太

委員 渡辺博之

委員 真辺有次